

平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ケーヨー

コード番号 8168 URL <http://www.keivo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 醍醐 茂夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役社長室長 (氏名) 実川 浩司

TEL 043-255-1111

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	136,948	△4.8	2,761	△33.2	3,443	△28.1	1,515	△35.7
24年2月期第3四半期	143,917	5.0	4,133	64.4	4,786	56.3	2,358	129.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年2月期第3四半期	28.77	—
24年2月期第3四半期	44.18	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年2月期第3四半期	96,605		35,366		36.6
24年2月期	94,826		35,572		37.5

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 35,366百万円 24年2月期 35,572百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年2月期	—	6.25	—	6.25	12.50
25年2月期	—	6.25	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	6.25	12.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	185,300	△2.6	4,300	△15.9	5,100	△14.4	2,200	6.2	41.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期3Q	59,476,284 株	24年2月期	59,476,284 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年2月期3Q	6,899,589 株	24年2月期	6,098,990 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期3Q	52,675,809 株	24年2月期3Q	53,378,148 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成24年3月1日～平成24年11月30日)におけるわが国経済は、アジア・中南米など新興経済地域の成長鈍化や欧州債務危機による世界経済の低迷、長期化する円高等の影響により景気の先行きについて不透明な状況となっております。小売業界におきましても、原発問題や電力不足等による消費者の需要の大きな変化や、社会保障問題等の社会不安の増大による個人消費の低迷等も見られ、企業間の価格や品揃え競争もより一層激化する中、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

そうした中、当社におきましては、創業60周年を迎え、記念セールや記念キャンペーンの実施、テレビCMのリニューアル等販売促進の強化を進めるとともに、商品開発の推進や地域特性への対応強化等に取り組んでまいりました。また、「ふだんの暮らし総合店」づくりをさらに深化させ、便利な買物と安さの提供、品揃え枠の拡大にも努めてまいりました。

販売面では、テレビCMにより当社開発商品「デイトーオリジナルあったか肌着」や「デイトーオリジナルゆずはちみつ漬け」等を積極的に展開してきたほか、節電需要に合わせて夏は「電考節家(でんこうせっか)」、秋以降は「スマート&ホット」をキーワードに節電用品の訴求を強化してきた結果、夏の冷感肌着や冷感寝具等に続き、秋以降も防寒肌着やこたつ布団、ストーブ等が好調に推移いたしました。一方、ゴールデンウィーク以降の天候不順や9・10月の厳しい残暑、多雨の影響により園芸用品や自転車等が低調となりました。

店舗設備では、節電や環境への配慮といたしまして、LED照明の導入を積極的に行い、導入店舗数は当第3四半期会計期間末で累計160店舗となりました。

販売拠点の強化につきましては、3月に木曾川店(愛知県一宮市)、7月に信州山形店(長野県東筑摩郡)、9月に川越店(埼玉県川越市)の計3店舗を出店したほか、3店舗の全面改装を実施いたしました。一方で2店舗の閉店を行いビルド&スクラップを推進してまいりました。

こうした取り組みの結果、当第3四半期累計期間における売上高は、1,369億48百万円(前年同四半期比4.8%減)、営業利益は27億61百万円(同33.2%減)、経常利益は34億43百万円(同28.1%減)、四半期純利益は15億15百万円(同35.7%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は966億5百万円となり、前事業年度末に比較し17億79百万円増加いたしました。主な要因は商品36億50百万円の増加と、投資有価証券10億47百万円、差入保証金6億64百万円の減少などによるものです。

負債合計は612億38百万円となり、前事業年度末に比較し19億85百万円増加いたしました。主な要因は支払手形及び買掛金50億35百万円の増加と、短期借入金18億20百万円の純減、長期借入金14億42百万円の返済などによるものです。

純資産合計は353億66百万円となり、前事業年度末に比較し2億5百万円減少いたしました。主な要因は自己株式の取得4億21百万円、剰余金の配当6億62百万円、その他有価証券評価差額金5億79百万円の減少と、四半期純利益15億15百万円の計上などによるものです。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の通期業績予想につきましては、「業績予想の修正に関するお知らせ」(平成24年9月25日付)において公表いたしました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,741	2,110
受取手形及び売掛金	804	1,029
商品	32,231	35,881
その他	4,689	4,354
流動資産合計	39,467	43,376
固定資産		
有形固定資産		
建物	23,932	23,832
土地	11,922	11,832
その他	12,542	12,670
減価償却累計額	△23,933	△24,270
有形固定資産合計	24,463	24,065
無形固定資産		
投資その他の資産	2,136	1,936
投資有価証券	7,787	6,739
差入保証金	15,485	14,821
その他	6,135	6,280
貸倒引当金	△562	△529
投資損失引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	28,759	27,226
固定資産合計	55,359	53,228
資産合計	94,826	96,605

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,204	22,239
短期借入金	4,693	2,873
1年内償還予定の社債	550	550
1年内返済予定の長期借入金	2,989	3,329
未払法人税等	1,090	743
資産除去債務	0	0
その他	4,847	5,345
流動負債合計	31,375	35,082
固定負債		
社債	5,100	4,825
長期借入金	18,123	16,341
退職給付引当金	2,551	2,785
役員退職慰労引当金	7	7
資産除去債務	450	511
その他	1,646	1,685
固定負債合計	27,878	26,156
負債合計	59,253	61,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,948	14,948
資本剰余金	12,595	12,595
利益剰余金	10,886	11,739
自己株式	△3,573	△3,994
株主資本合計	34,856	35,288
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	598	19
繰延ヘッジ損益	117	58
評価・換算差額等合計	715	78
純資産合計	35,572	35,366
負債純資産合計	94,826	96,605

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	143,917	136,948
売上原価	103,240	99,389
売上総利益	40,677	37,558
販売費及び一般管理費	36,543	34,796
営業利益	4,133	2,761
営業外収益		
受取利息	155	136
受取配当金	135	192
受取賃貸料	959	1,061
その他	558	516
営業外収益合計	1,808	1,907
営業外費用		
支払利息	334	298
賃貸収入原価	813	917
その他	7	9
営業外費用合計	1,155	1,225
経常利益	4,786	3,443
特別利益		
固定資産売却益	28	22
投資有価証券売却益	—	36
受取補償金	3	55
その他	32	—
特別利益合計	64	113
特別損失		
固定資産売却損	120	36
固定資産除却損	117	94
減損損失	22	564
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	177	—
災害による損失	340	4
その他	262	109
特別損失合計	1,041	810
税引前四半期純利益	3,810	2,746
法人税、住民税及び事業税	2,066	1,537
法人税等調整額	△614	△306
法人税等合計	1,452	1,231
四半期純利益	2,358	1,515



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。